

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は 2022 年 9 月 26 日から発生届出の対象が見直され、感染動向は日ごとの患者の総数及び日ごとの患者の年代別の総数（以下、日次報告数という）として把握（全数）されることとなった。また、2023 年 5 月 8 日以降は、感染症法上での位置づけが新型インフルエンザ等感染症から 5 類感染症へと変更となり、以降、定点医療機関（インフルエンザ/COVID-19 定点）による週単位の患者報告により発生動向を把握することとなった。さらに、2023 年 9 月 25 日からは、基幹定点による週単位の入院患者の報告が始まった。

1 新型コロナウイルス感染症の患者情報（全数）

2023 年 1 月 1 日から 5 月 7 日における新型コロナウイルス感染症の埼玉県及び全国の日次報告数を表Ⅲ-1-1 に示した。埼玉県における新型コロナウイルス感染症の日次報告数は、215,133 人であった。

表Ⅲ-1-1 新型コロナウイルス感染症の報告数（2023 年 1 月 1 日～5 月 7 日）

疾患名	埼玉県*	全国**
新型コロナウイルス感染症	215,133	4,484,362

* 2024年2月21日集計

** 厚生労働省HP(<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>)より集計

0 歳から 90 歳代以上の全ての年齢階級で報告があり、20 歳代の報告数が最も多かった。また、65 歳未満の報告は全体の 81.8%だった。発生届の対象となった者の割合は、21.2%であった。（表Ⅲ-1-2）。

2022 年の 10 月中旬から 2023 年 3 月下旬にかけて流行が観察された。流行のピークは 2023 年の 1 月で、その後は 5 月 7 日の全数報告の終了まで大きな流行は見られなかった。ピーク時の一日当たりの最大患者数は 8,022 人であった。（図Ⅲ-1-1）

表Ⅲ-1-2 新型コロナウイルス感染症 年齢階級別報告数 (2023. 1. 1~5. 7)

年齢階級	日次報告数*	発生届出数**	内訳	
			男性	女性
10歳未満	20,483	221	117	104
10歳代	22,787	61	32	29
20歳代	32,432	828	135	693
30歳代	30,644	1,416	225	1,191
40歳代	32,019	982	541	441
50歳代	28,358	1,670	990	680
60~64歳	9,208	1,152	654	498
65~69歳	7,774	7,774	3,809	3,965
70歳代	15,383	15,383	7,575	7,808
80歳代	11,430	11,430	4,743	6,687
90歳以上	4,608	4,608	1,180	3,428
不明	7	2	1	1
合計	215,133	45,527	20,002	25,525

* 日次報告数には発生届出数を含む

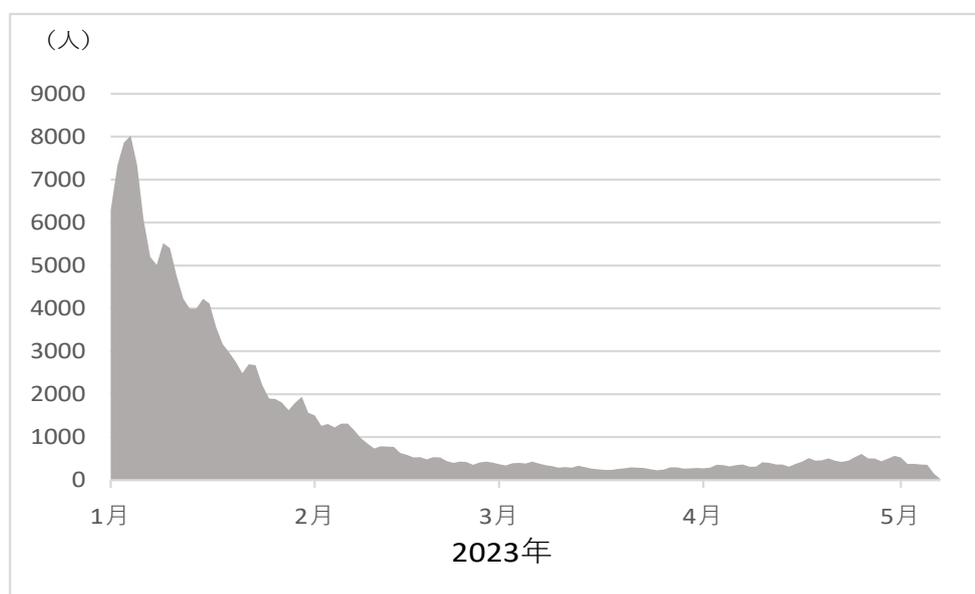
** 発生届の対象は①~④のいずれかに該当した者

①65歳以上の者

②入院を要する者

③重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要と医師が診断する者

④妊婦

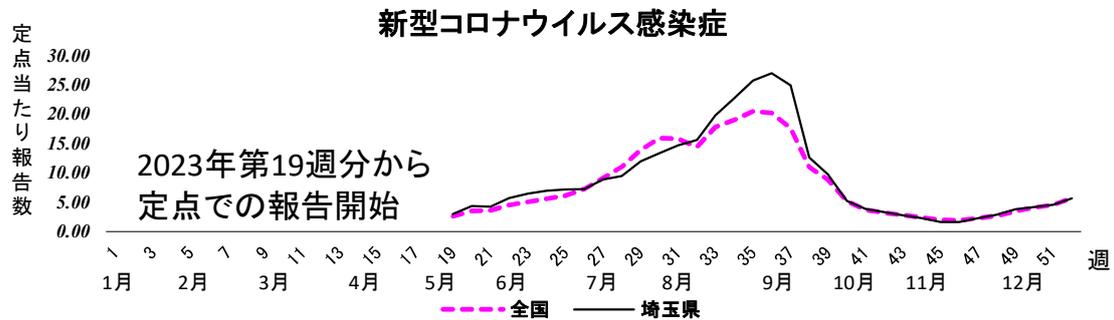


図Ⅲ-1-1 新型コロナウイルス感染症 日別患者数 (2023年)

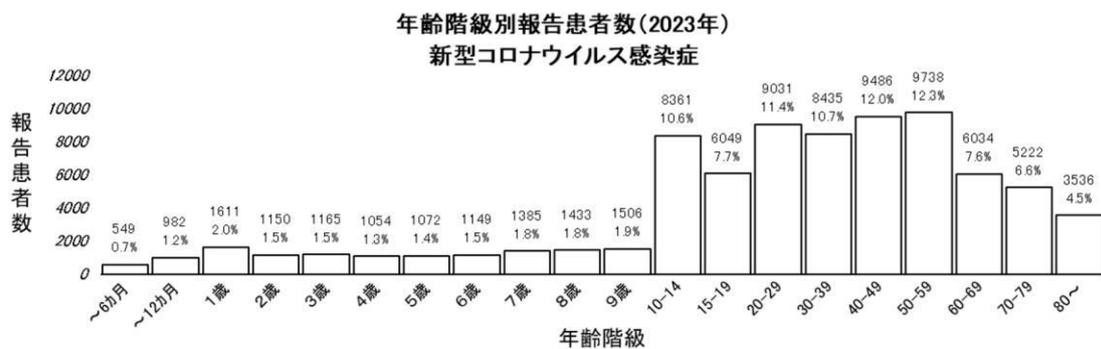
2 新型コロナウイルス感染症の患者情報 (定点)

2023年5月8日以降の第19週~52週の累積報告患者数は78,948人であった。定点当たり報告患者総数は306.00であった。定点当たり報告数は、報告開始当初から緩やかに増加し始め、8月に入り急増した。定点当たり報告数の最大値は第36週(9/4-10)の26.95であった(図Ⅲ-2-1)。年齢階級別では、全体のうち20歳未満が34.8%、

20歳以上が65.2%で、20歳以上では50歳代が最も多く、次いで40歳代が多かった（図Ⅲ-2-2）。



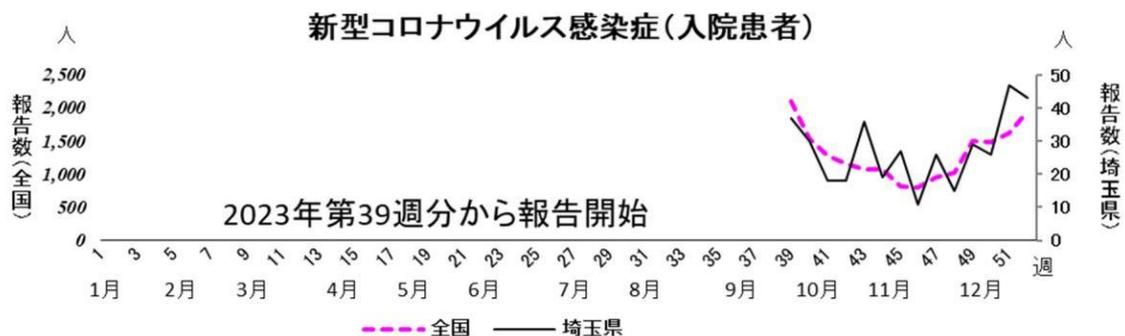
図Ⅲ-2-1 定点当たり報告患者数の推移（全国比較：新型コロナウイルス感染症）



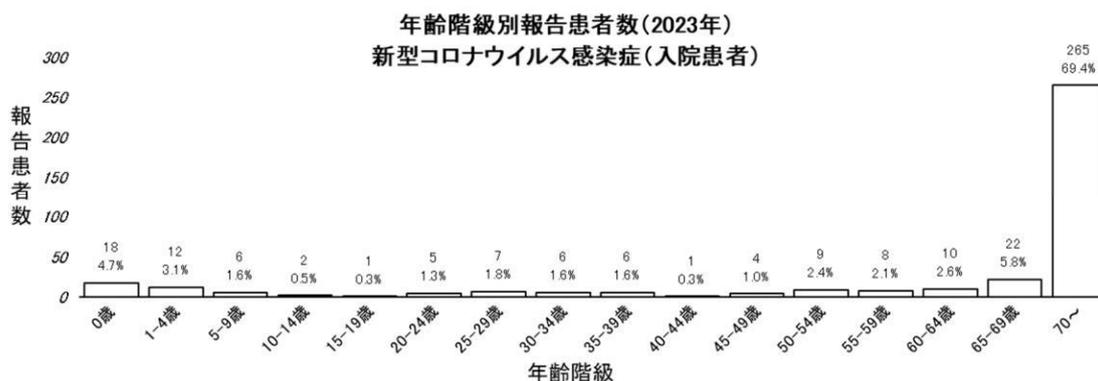
図Ⅲ-2-2 定点における年齢階級別報告患者数（埼玉県：新型コロナウイルス感染症）

3 新型コロナウイルス感染症の入院患者（基幹定点）

2023年9月25日以降の第39週～52週の累積報告患者数は382人であった。定点当たり報告患者総数は31.83であった。年齢階級別では、70歳以上が265人で最も多く、69.4%であった（図Ⅲ-3-1、図Ⅲ-3-2）。



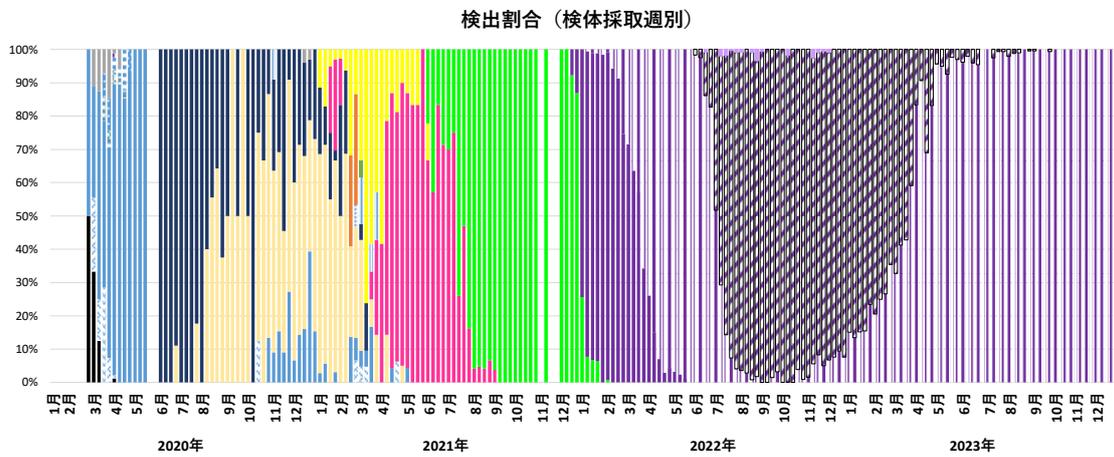
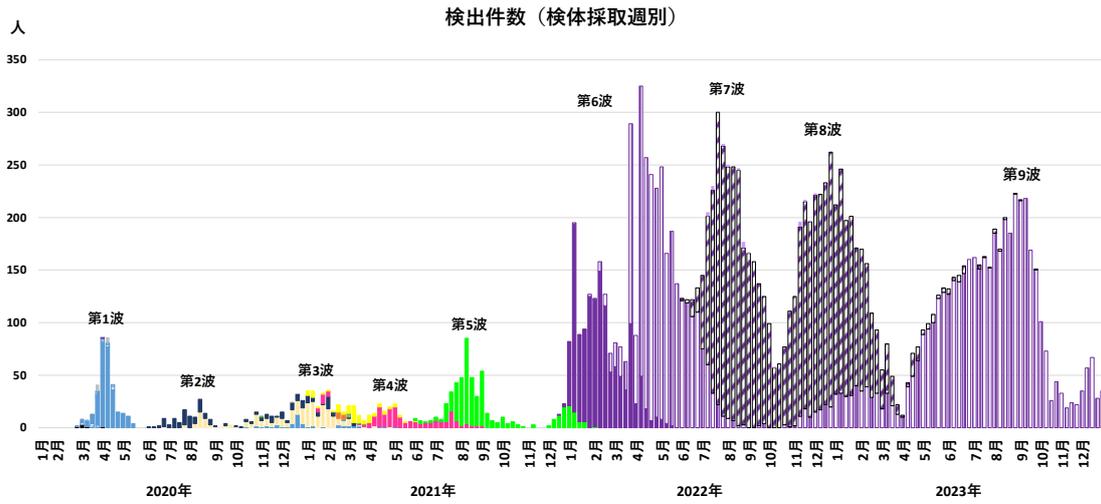
図Ⅲ-3-1 報告患者数の推移（全国比較：インフルエンザ（入院患者））



図Ⅲ-3-2 年齢階級別報告患者数（埼玉県：インフルエンザ（入院患者））

4 新型コロナウイルス感染症の病原体検出状況

次世代シーケンサー（NGS）によるゲノム解析（県内医療機関（インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス及び急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランスの協力医療機関も含む）及び検査会社から提供された検体に基づく）によると、2022年の7月以降オミクロン株のBA.5系統が流行の中心であったが、2023年4月以降はBA.2系統が再び流行の中心となり、その後もBA.2系統による流行が継続していた（図Ⅲ-4-1）。



- R.1 (E484K単独)
- P.1 (N501Y ガンマ株)
- A (武漢株)
- B.1 (欧州系統)
- B.1.1.284 (国内第2波主流系統)
- B.1.346
- B.1.1.285
- B.1.1.282
- B.1.617.2 (L452R デルタ株)
- B.1.1.529 (オミクロン株 BA.2系統)
- B.1.1.529 (オミクロン株 BA.5系統)
- B.1.1.7 (N501Y アルファ株)
- B.1.351 (N501Y ベータ株)
- B (欧州系統)
- B.1.1 (欧州系統)
- B.1.1.214 (国内第3波主流系統)
- B.1.1.401
- B.1.1.283
- B.1.1.28
- B.1.1.529 (オミクロン株 BA.1系統)
- B.1.1.529 (オミクロン株 BA.4系統)
- other

図Ⅲ-4-1 新型コロナウイルス ゲノム解析結果